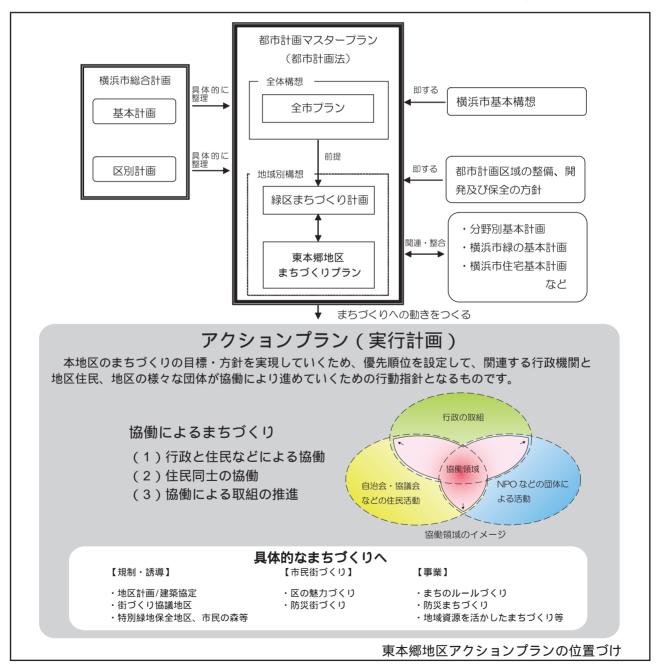
1. 東本郷地区アクションプランについて

(1)アクションプランの位置づけ

都市計画マスタープランは、都市の将来像や地域のあるべき市街地像、地域の課題に対応した まちづくりの方針などを総合的に定めるものです。

横浜市では、市域全体を対象とした「全市プラン」、各行政区域を対象とした「区プラン」、特にまちづくりの検討が必要な地区を対象とした「地区プラン」(地区まちづくりプラン)の策定を進めています。緑区では平成14年12月に区プランとして「緑区まちづくり計画」、平成17年7月には東本郷地区を対象とした地区プランとして「東本郷地区まちづくりプラン」が策定されました。

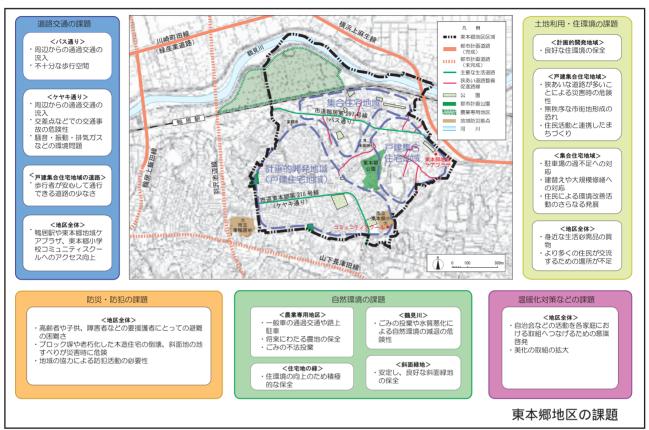
アクションプランとは、「東本郷地区まちづくりプラン」で示されたまちづくりの目標・方針 を具体的に実現していくため、関連する行政機関と地区住民、地区の様々な団体が担う役割分担 とその実施時期を明確にして、協働により進めていく行動指針となるものです。



(2)東本郷地区まちづくリプランの概要

a) 東本郷地区の課題

地区の課題としては、主に道路交通の課題、土地利用・住環境の課題、防災・防犯の課題、自 然環境の課題、温暖化対策の5つを挙げています。



東本郷地区まちづくりプランP15より引用

b)地区の目標と基本理念

これらの課題に対し、より快適に住みやすいまちを目指して本地区のまちづくりの目標を次のように設定しています。

『地域コミュニティが息づく安全・安心で快適なまち』

さらにこの目標に沿い、本地区のまちづくりの基本理念として、次の3つの柱を設定しています。

安全・安心で快適なまちづくり
地域の資源や歴史を大切にするまちづくり
地域で支えあうまちづくり

c) 東本郷地区まちづくり方針

『地域コミュニティが息づく安全・安心で快適なまち』を実現していくために、まちづくりの基本理念をもとに、おおむね20年後の東本郷地区の望ましい将来像とともに、それを実現するためのまちづくりの方針は以下のように示されています。



|方針 1 | 道路交通環境の改善

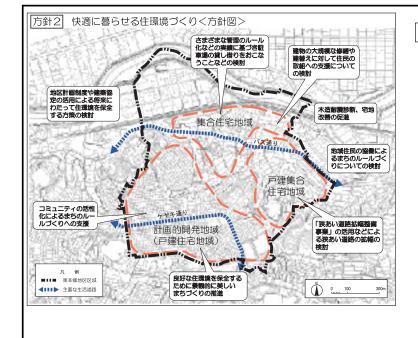
<将来像>

安全で快適な歩行空間が連続し、歩行者に優しいまち

誰もが気軽に出かけることができるま ち

- (1)周辺の都市計画道路の整備
- (2)主要な生活道路の交通環境改善
- (3)南北方向の道路の整備誘導
- (4)歩行空間の充実と公的交通機関の整備

東本郷地区まちづくリプランP19より引用



|方針 2 | 快適に暮らせる住環境づくり

<将来像>

一人ひとりが良好な住環境や美しい街 並みの保全・創造に向けて努力してい るまち

子育て世代や高齢者、障害者などが孤立せず、生き生きと暮らしていくことができるまち

(1)計画的開発地域

(地区南西部の戸建住宅地域)

(2)戸建集合住宅地域

(地区中央部の戸建住宅と集合住宅 が混在する地域)

(3)集合住宅地域

(地区北部のJR横浜線沿線の地域)

(4)地区計画や建築協定などの活用



│方針3│ 安全・安心まちづくりの推進

<将来像>

災害が発生しても被害の拡大を最小限 に止めるような災害に強い安全なまち 子どもや高齢者、障害者などを含めた 地域みんなでお互いに助け合うたくま しいまち

犯罪の発生しにくい環境をみんなでつ くっていくまち

- (1)一時避難場所づくり
- (2)防災まちづくり
- (3)避難体制の確立
- (4)防犯対策

東本郷地区まちづくりプランP23より引用



方針4 緑と自然のまちづくり

<将来像>

誰もが自然環境とふれあえるように、 良好な環境の緑と水が連なり、その豊 かな自然を楽しめるまち 地域の人々による緑の保全運動が盛ん で、身近な緑を大切にするまち

- (1)公園の活用
- (2)緑の保全と創造
- (3)農地の保全と活用
- (4)鶴見川河川敷の管理と整備

東本郷地区まちづくリプランP25より引用

|方針 5 | エコ・コミュニティづくり

<将来像>

住民一人ひとりによって美しいまちが維持され、ごみ を捨てづらいきれいなまち

地球環境保全の意識が高く、各家庭でできることを積極的に実践しているまち

- (1)リデュース・リユース・リサイクルなどの運動
- (2)地球温暖化対策に向けた運動
- (3)花いっぱい運動

方針6 地域コミュニティづくり

<将来像>

福祉、まちづくり、教育などの市民活動に地域の人が みんなで参加しているまち

市民活動などへの参加を通して、地域を越えた人同士 のつながりが生まれているまち

- (1)支えあうまちづくり
- (2)出会いと交流の促進
- (3)地域活動の推進